

大宮工業・浦和工業新校基本計画骨子（案）修正一覽

	第2回委員会 骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
学科等	<p>機械科 電気科 建築科 ロボット技術科 デジタル情報科</p>	<p>機械工学科 電気工学科 建築デザイン工学科 ロボット工学科 情報サイエンス科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「デジタル情報科」は中学生にはインパクトが弱い。「データサイエンス科」などはいかがか。</li> <li>● 「デジタル情報科」は保護者としてもよく分からないので子供に薦められない。「データサイエンス科」など学びの内容がイメージできるような学科名にしてほしい。</li> <li>● 中学生はネーミングで選ぶわけではない。ネーミングよりも目指す学校や育てたい生徒像をしっかりと検討し、どんな学びができるのかをしっかりと打ち出していく必要がある。</li> <li>● 企業側からしても保護者としても、どんな学科なのか一目瞭然に分かる学科名が望ましい。</li> <li>● 学科名に惹かれて入学したら実際全然違うということにならないように。工業科と情報科があるということが中学校の先生にも分かるようなネーミングが良い。</li> <li>● 学びがどんどん刷新していく中で是非学科名も変えてもらいたい。機械科は「マシクラフト科」、電気科は「電気情報通信科」、建築科は「建築デザイン科」、ロボット技術に関する学科は「ロボティクス科」、情報科は「情報科学科」や「数理情報科学科」などの案がある。イノベーションが早いので「データサイエンス」はすぐに廃れるかもしれない。「デジタル情報科」はどうかと思う。</li> <li>● 学科名は、最先端の名前が良いのではないかと。例えば、マシクラフト、モビリティ、パワーグリッド、アーキテクト、インテリアデザイン、コンフォートデザインなど。従来の工業色を出さない。</li> <li>● 「デジタル情報科」の学科名は再考願う。※</li> </ul> <p>○ 機械科は「機械システム科」、電気科は「電気システム科」が良い。機械科については他にも「ロボティクス科」や「マシクラフト科」などの案もある。建築科は「インテリアデザイン科」もしくは共生社会を目指して「共生デザイン科」は如何か。ロボットみたいなというイメージで「ロボティクス科」が良い。情報科は「システムデザイン」や「コンテンツデザイン」など「デザイン」が付くと良い。</p> <p>○ 電気システム科にすると、電気科と何が違うのかということになる。他の学科との棲み分けも難しくなる。中学生に分かりやすく「電気科」が良い。</p> <p>○ 「デジタル情報科」は「デジタル」を繰り返している印象。先端的な学びの実践の意味を込め、「先端情報科」や「先進情報科」はいかがか。</p>

※欠席した委員から寄せられた御意見

	第2回委員会骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
学校規模 (1学年当たり)	<u>280人(7)</u> 機械科(2) 80人 電気科(1) 40人 建築科(2) 80人 ロボット技術科(1) 40人 デジタル情報科(1) <u>40人</u>	<u>320人(8)</u> <u>機械工学科</u>  <u>電気工学科</u>  <u>建築デザイン工学科</u>  <u>ロボット工学科</u>  <u>情報サイエンス科(2)</u> <u>80人</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2校の統合なのに現在の大宮工業と同じ7クラスというのは納得しかねる。</li> <li>●8クラスはありかと思う。</li> <li>●工業科が現在の大宮工業よりも少ない6クラスというのが気になる。情報科は生徒募集や授業展開の観点から2クラス募集が良い。</li> <li>●大宮工業はもともと8クラス規模。ある程度人数がいた方が学びは深まる。2クラスが良い。</li> <li>●2校の統合なのに7クラスは少ない気がする。電気科は2クラスにならないのか。※</li> <li>○情報科は最低2クラス、場合によっては3クラスでも良い。全体は8クラス規模にする。</li> <li>○情報科を新校の大きな看板にするのであれば、1クラスではない。</li> </ul>

※欠席した委員から寄せられた御意見

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
基本理念	目指す学校	<p>ア 埼玉県工業教育・情報教育を牽引し、先端産業分野で活躍できるエンジニアを育成する学校</p> <p>イ ものづくり全般に関わる基礎から、新たな価値を生み出す教育まで、Society5.0に対応する学びを実践する学校</p> <p>ウ ものづくり教育の拠点として、地域や社会に貢献しようとする生徒を育てる学校</p>	<p>ア 埼玉県工業教育・情報教育を牽引するとともに、グローバルな視点に立ち、先端産業分野で活躍するための資質・能力を育成する学校</p> <p>イ ものづくり全般に関わる基礎から新たな価値を生み出す教育まで、Society5.0を実現する学びを実践する学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報科が新設されるので、「エンジニア」はもう少し幅広に「人材」にした方が良いのではないか。</li> <li>●あまり基礎と言い過ぎてしまうと新校の目標が薄まってしまうのではないか。</li> <li>●「Society5.0に対応する学び」とあるが、「対応」というよりは「実現」ではないか。</li> </ul>
	育てたい生徒像	<p>ア 何事にも誠実に取り組み、貫き通すことができる生徒</p> <p>イ 広い視野と豊かな教養を身に付けた、心身ともに強くたくましい生徒</p> <p>ウ 社会や時代の変化に柔軟に対応し、主体的に考え行動できる生徒</p> <p>エ ものづくりが好きで、生涯にわたり学び続け新たな価値を創造することができる生徒</p>	修正なし	特になし

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教育活動等の基本姿勢	工業教育・情報教育を牽引する「 <u>学びの拠点</u> 」として、教職員が自ら教育課題を発見し、主体的・対話的で深い学びの視点から学習内容の充実を図るとともに、 <u>先端産業分野で活躍できる人材育成のために地域と協働して探究的な教育活動を実践する。</u>	工業教育・情報教育を牽引する <u>学びの拠点</u> として、教職員が自ら教育課題を発見し、主体的・対話的で深い学びの視点から学習内容の充実を図り、 <u>先進的な取組を県内外に発信するとともに、</u> 先端産業分野で活躍できる人材育成のために <u>地域等</u> と協働して探究的な教育活動を実践する。	特になし

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教科指導	基本方針 ア <u>ものづくり全般に関する基礎的な学びを大切にしながら、学びの基盤となる情報教育を充実させる。</u>  (新設) イ <u>学科横断型の探究活動</u> を通して、生徒の資質・能力の向上を図る。 ウ <u>地域や企業との協働教育を図り、主体的な学び・個別最適な学びを推進した授業を実践する。</u>	ア <u>ものづくり全般に関する基礎的な学びを大切にするとともに、一人一人の発想力や創造力を育む。</u> イ <u>情報及び情報手段を主体的に選択し、適切かつ効果的に活用できる力を育み、情報分野におけるスペシャリストに必要な能力や態度を養う。</u> ウ <u>学科横断型の探究活動等</u> を通して、生徒の資質・能力の向上を図る。 エ <u>地域や企業との協働教育を図り主体的な学びを実践するとともに、ICTを効果的に活用するなどして個別最適な学びを推進する。</u>	●情報科の要素を教科指導の基本方針にどう盛り込んでいくのか。ひと工夫あっても良い。 ○「基礎」という表現をなるべく使わない方が良い。

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教科指導	具現化	<p>ア 総合選択制の導入や校外における学修単位の認定など、特色のある教育課程を編成する。</p> <p>イ 生徒や地域のニーズに合わせたカリキュラム・マネジメントを実践する。</p> <p>ウ 学科横断型課題研究や教科横断型・学科連携授業などを充実させる。</p> <p>エ ICTを積極的に活用し、「数理・データサイエンス・AI」のリテラシーを踏まえた授業を実践する。</p> <p>オ 生徒が計画的に活用できる学習環境を提供する。</p> <p>カ 産業実務家教員等の外部人材を活用するなど、専門分野に対する生徒の興味・関心を高める。</p>	<p>ア 総合選択制の導入や学校外における学修の単位認定など、特色のある教育課程を編成する。</p> <p>ウ 学科横断型課題研究や教科等横断型授業などを充実させる。</p> <p>オ 生徒が計画的に活用できる学習環境を整え、主体的な学びを促す。</p>	特になし

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
生徒指導	基本方針	<p>ア 誠実で礼儀正しい生徒を育成する。</p> <p>イ <u>エンジニアとしての規範意識</u>の構築を図る。</p> <p>ウ 他者の立場を理解し、思いやりのある生徒を育成する。</p>	<p>イ <b>豊かな人間性を育て</b>、規範意識の構築を図る。</p>	<p>●エンジニアの育成という視点が中心になっている。それ以前にしっかり社会に出て行くための「人間性の育成」の観点を盛り込んでほしい。</p>
	具現化	<p>ア 元気な挨拶を奨励し、明るく活気のある環境づくりに努める。</p> <p>イ 5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）活動や安全教育の推進を図る。</p> <p>ウ <u>企業・大学・専門学校等</u>と連携した進学や資格取得のための授業を通して、生徒の自発的な行動を促す。</p> <p>エ 地域のイベント企画やボランティア活動等への参加を通して、自己肯定感や自己有用感を高める。</p> <p>オ 学校の教育活動を通じて多様性を尊重する態度を養い、<u>人権課題</u>への理解を深める。</p> <p>カ 教職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携するなど、組織的な教育相談体制を確立する。</p>	<p>ウ <b>企業、大学、専門学校等</b>と連携した進学や資格取得のための授業を通して、生徒の自発的な行動を促す。</p> <p><b>オ</b> 教職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携するなど、組織的な教育相談体制を確立する。</p> <p><b>カ</b> 学校の教育活動を通じて多様性を尊重する態度を養い、人権<b>問題</b>への理解を深める。</p>	<p>特になし</p>

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
進路指導	基本方針	<p>ア 「自他理解」、「自己開発」、「自己実現」に根差した教育活動を実現し、キャリアデザイン力を醸成する。</p> <p>イ 生徒一人一人の進路希望に応じたきめ細かな指導を行う。</p> <p>ウ 全ての生徒の進路実現を目指して、組織的・計画的な指導を行う。</p>	特になし	特になし
	具現化	<p>ア <u>企業および大学、専門学校</u>との連携を強化し、インターンシップや進路ガイダンスの開催等、キャリア教育の充実を図る。</p> <p>イ キャリアパスポートを効果的に活用し、3年間を見通した計画的・実践的なキャリア教育を展開する。</p> <p>ウ 資格取得や大学進学のための進路指導及び学習支援の充実を図る。</p> <p>エ 探究活動等を通じて生徒一人一人が主体的に進路選択できるよう、進路意識の醸成を図る。</p>	<p>ア <u>企業</u>、<u>大学</u>、<u>専門学校等</u>との連携を強化し、インターンシップや進路ガイダンスの開催等、キャリア教育の充実を図る。</p>	特になし

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
生徒募集	基本方針	<p>ア 小・中学生や保護者が関心を持てるよう、様々な機会を捉えて積極的に情報発信する。</p> <p>イ 学校の特色や育てたい生徒像を踏まえ、目的意識が高く意欲のある生徒の募集に努める。</p> <p>ウ 地域における教育活動を積極的に行い、生徒の活動を通じ幅広く広報活動を行う。</p>	修正なし	
	具現化	<p>ア 中学校・高校教員の情報交換の場を設け、新校を会場とした学校説明会や<u>小中学校教員</u>を対象とした研修会を実施する。</p> <p>イ 小・中学生を対象とした「高校生が先生のものづくり教室(仮)」の実施など、地域コミュニティとの連携を強化する。</p> <p>ウ <u>新聞をはじめとしたメディア等へ情報提供</u>するとともに、学校ホームページを充実させ、SNS等を活用した広報活動を行う。</p> <p>エ 入学者選抜において、学校の特色や育てたい生徒像を踏まえた選抜基準を設ける。</p>	<p>ア 中学校・高校教員の情報交換の場を設け、新校を会場とした学校説明会や小・中学校教員を対象とした研修会を実施する。</p> <p>ウ <u>メディア等への情報提供を積極的に行う</u>とともに、学校ホームページを充実させ、SNS等を活用した広報活動を行う。</p>	○「新聞をはじめとした」とあえて言わなくても良いのではないかと。



	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委委員会)
その他	<p>ア 産業界と一体となったカリキュラムの刷新・実践や、企業等の技術者・研究者等による授業や演習を実施するなどして、先端産業分野で活躍できる人材を育成する。</p> <p>イ 指導の充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。</p>	修正なし	特になし